

令和3年度障がい者虐待防止対策支援事業について

1. 実施概要

【目的】障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のため、地域における関係行政機関、障がい者等の福祉、医療、司法に関する職務に従事するもの又は関係する団体、地域住民等の支援体制の強化や協力体制の整備を図る。

【実施体制】市内 11 事業所に虐待防止センターを設置し、業務を実施。

2. 令和3年度障がい者虐待の現状について

① 虐待類型別通報・相談件数の推移

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養護者虐待（その他同居家族等も含む）	25	19	14
施設従事者虐待	20	18	11
使用者虐待	4	3	5
計	49	40	30

表1 虐待類型別通報・相談件数

全体的に虐待の通報件数は、前年度より減少している。

② ①のうち虐待として認定された件数の推移

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養護者虐待（その他同居家族等も含む）	17	10	11
施設従事者虐待	0	2	9
使用者虐待	1	3	0
計	18	12	20

表2 表1のうち、虐待として認定された件数

令和元年度から令和3年度までの過去3年間の推移をみると、従事者虐待として認定された件数は、増加傾向を示している。

③ 養護者虐待について 令和3年度 虐待認定件数 11件
 ア 虐待の通報者について

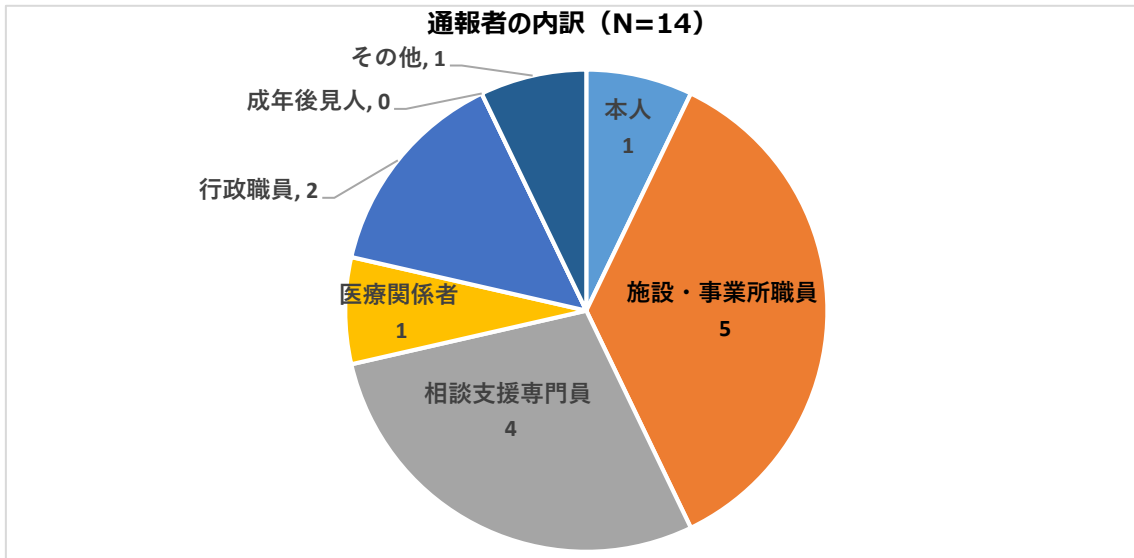


表2 養護者虐待における通報者の内訳

養護者虐待における通報者は「施設・事業所職員」が5件で最も多く、令和2年度の8件から減少している。本人からの通報は1件で、令和2年度の2件から減少している。

イ 虐待の類型について

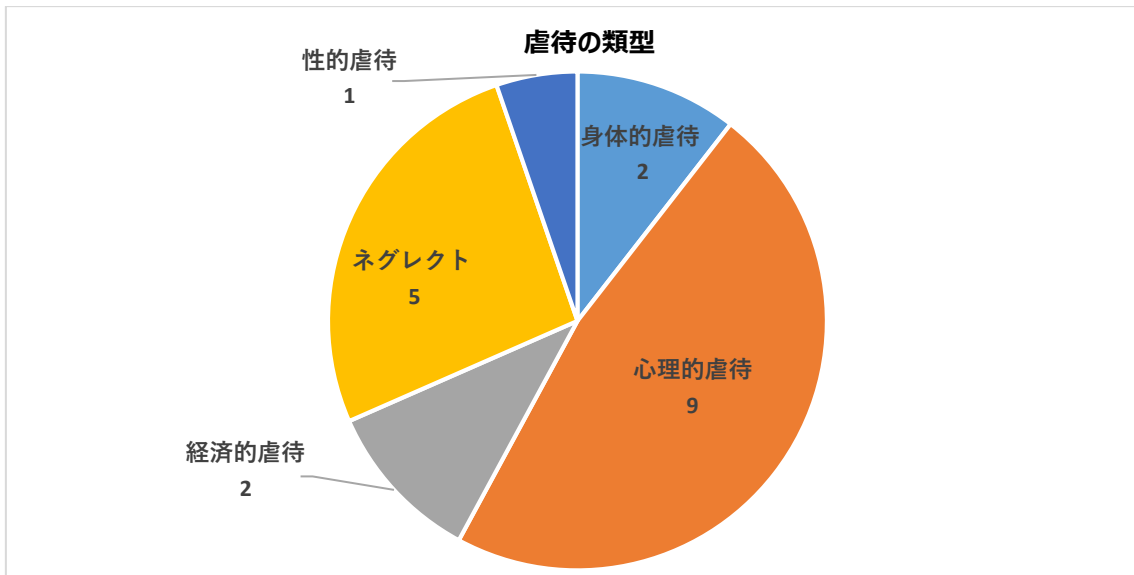


表3 虐待の類型（重複あり）

虐待の類型では、「心理的虐待」が9件で最も多くなっている。また、複数種類の虐待が6件あり、中でも「心理的虐待」と「ネグレクト」等の複数種類が多かった。

ウ 被虐待者の年齢

年齢	人数（人）
18～29 歳	7
30～39 歳	1
40～49 歳	2
50～59 歳	1
60 歳以上	0

表 4 被虐待者の年齢

被虐待者の障害種別

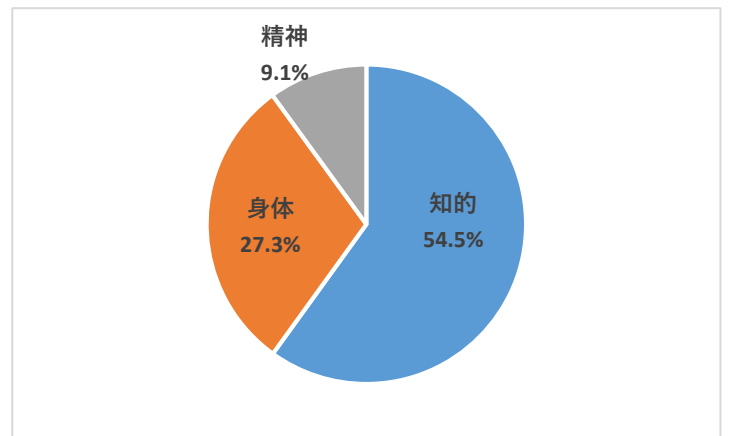


表 5 被虐待者の障がい種別

被虐待者の年齢は、18～29 歳が多く、障がい種別では、知的障がいが多くなっている。

エ 被虐待者から見た虐待者の続柄

続柄	人数（人）
父	0
母	5
兄弟姉妹	1
その他	5

表 6 被虐待者から見た虐待者の続柄

虐待者と被虐待者の関係で、最も多かったのは「母」によるものであった。また「その他」は、「妻」「夫」などによるものとなっている。

オ 虐待の要因、環境について

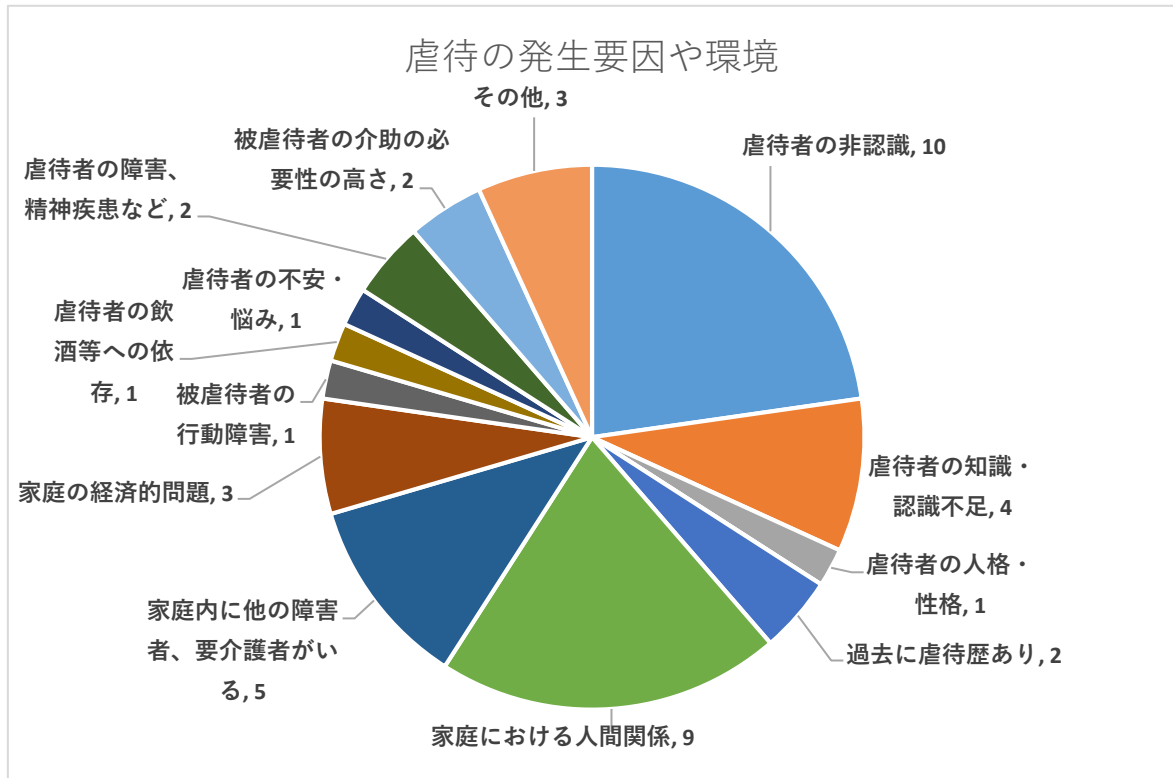


表 8 虐待の発生要因や環境について（重複あり）

表 8 を見ると、発生要因については、「虐待者の非認識」が一番多いが、「家庭における人間関係」「家庭に他の障害者、要介護者がいる」も要因として多く挙げられている。

複数の要因が原因で、虐待が発生していることがうかがえる。

カ 養護者虐待の分離の状況

養護者虐待として認定した件数	11						
うち、分離した件数	5	→	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>契約による障がい福祉サービスの利用</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他（法令に基づくやむを得ない事由等による措置）</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	契約による障がい福祉サービスの利用	4	その他（法令に基づくやむを得ない事由等による措置）	1
契約による障がい福祉サービスの利用	4						
その他（法令に基づくやむを得ない事由等による措置）	1						
うち、分離していない件数	6	→	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>定期的な見守りの実施</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他（新たな福祉サービスの利用）</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	定期的な見守りの実施	3	その他（新たな福祉サービスの利用）	3
定期的な見守りの実施	3						
その他（新たな福祉サービスの利用）	3						

表 9 養護者虐待の分離の状況

令和3年度中に発生した養護者虐待について、分離を行ったケースは5件であった。
 また、分離を行っていない場合も、再発防止のための定期的な見守りの実施や新たな福祉サービスの利用等により、被虐待者の安全確保に努めている。

④ 施設従事者虐待について 令和3年度虐待認定件数 9件

⑤ 利用者虐待について 令和3年度虐待認定件数 0件

⑥ 虐待案件の終結状況について

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
虐待件数	17	10	11
終結件数	1	1	2
継続件数	16	9	9
終結率	5.9%	10.0%	18.2%

令和元年度以降の終結率は増加傾向にあり、案件の短期化が続いていることがうかがえる。

3. 令和3年度虐待防止講演会の開催

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、講演会は中止とした。